

統計スポット情報

No. 130

19. 4. 6

福井県総務部政策統計室

1人当たり県民所得の全国比較

19年3月に、内閣府から平成16年度県民経済計算が公表されました。県民経済計算では、福井県の経済が良くなったのかどうか（経済成長率）や県民1人当たりの所得がいくらなのか（1人当たり県民所得）等を算出しています。今回は本県の1人当たり県民所得について、近年の推移や国や他の都道府県との比較をしてみましょう。

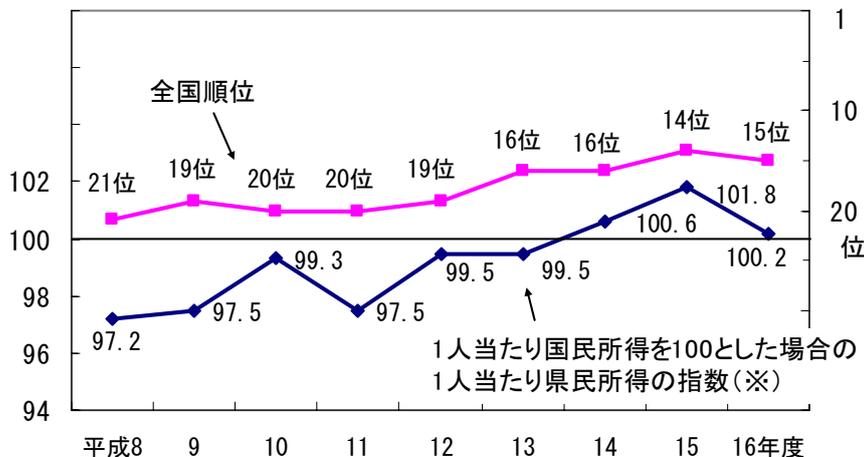
注：ここにいる「県民所得」は、実際に県民のサイフに入るお金ではなく、個人所得（給与や利子等）の他、企業所得（企業の儲け等）等を含んだものであり、県民が1年間の経済活動を通じて新たに生み出した価値を表します。

図表1をみると、平成16年度の本県の1人当たり県民所得は283万2千円で、全国15位となっています。図表2は、1人当たり県民所得の全国順位と国民所得との推移を表したものです。これをみると、国民所得との比較では、平成13年度以前は国民所得を下回っていたものの、14年度以降は3年連続で上回っています。また、全国順位もおおむね上昇傾向にあります。

図表1 平成16年度1人当たり県民所得

順位	都道府県	(千円)	指数(※)
1位	東京都	4,559	161.3
2位	愛知県	3,440	121.7
3位	静岡県	3,247	114.9
4位	滋賀県	3,235	114.5
...
8位	富山県	3,027	107.1
...
14位	京都府	2,849	100.8
15位	福井県	2,832	100.2
16位	群馬県	2,828	100.1
...
19位	石川県	2,790	98.7

図表2 本県の1人当たり県民所得の全国順位と1人当たり国民所得との比較



では、次に1人当たり県民所得の水準に地域的な特徴があるのでしょうか。

図表3は、各都道府県を1人当たり県民所得の区分毎に色分けしたものです。これをみると、首都圏、関西圏、中京圏や北陸などで1人当たり県民所得が高くなっています。一方、大都市圏から離れた東北、四国および九州などは1人当たり県民所得が低くなっています。

県民経済計算の詳細

<http://toukei.pref.fukui.jp/>

図表3 平成16年度1人当たり県民所得(単位:千円)

